



様式第6号 (第6条関係)

令和3年4月5日

(宛先) 安曇野市議会議長 召田義人

会派名  
代表者氏名 増田望三郎 ㊟  
経理責任者氏名 増田望三郎 ㊟

令和2年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、令和2年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位:円)

項目	決算額	備考
政務活動費	120,000	120,000円×1人
合計	120,000	

支出の部

項目	決算額	備考
広報広聴費	5,000	ホームページの運営管理費 (10,000円の内、5,000円を 充当)
	106,800	広報紙の作成・折込広告代 (191,916円の内、106,800円 を充当)
研修費	4,000	オンラインセミナー、研修会 参加費 (8,000円の内、4,000 円を充当)
調査研究費	1,500	2回の情報公開請求による庁 内資料コピー代 (2,990円の内、 1,500円を充当)
資料作成費	2,700	一般質問の資料配布コピー代 (令和2年9月、12月定例会、 令和3年3月定例会で5,400 円の内2,700円を充当)
合計	120,000	

2 収入支出差引残高 0円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況（別紙）を添付すること。

政務活動実施状況

活動名	議員ホームページの運営	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤ <b>広報広聴</b> ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	増田望三郎市議の活動を市民に広報するため	
活動の概要	日時	定例会ごとの情報更新/その他不定期の更新
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	① 定例会後に発行する議員通信をホームページ上にアップしている。 ② 不定期に作成する動画をホームページ上にアップしている。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	ホームページには基本的な議員活動の政策や議員通信を提起更新し、議会活動の情報開示に努めている。またホームページとは別に即時性の高いブログでの発信も行い、2つの媒体で議員としての説明責任の一端を行っている。 また登録制のメーリングリストを開設し、市政について議論を行ったり、議員活動への意見を市民の方から頂いている。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	市議活動だより（市議広報紙）の発行	
活動区分	① 調査研究 ② 研修 ③ 資料作成 ④ 資料購入 ⑤ 広報広聴 ⑥ 要請・陳情 ⑦ その他	
活動の目的	増田望三郎市議の活動を市民に広報するため	
活動の概要	日時	定例会後に活動広報紙を作成し、新聞折り込み広告やポストイン、議員活動にて配布。
	研修先・主催者等	増田望三郎市議活動広報紙『レインボウ通信』の第25、26、27、28号の発行。
	報告内容・実施したこと。	議員活動の広報紙を作成し、新聞折り込みや市議活動報告会他で配布した。レインボウ通信は毎回定例会後に発行している。マンガやイラストなどを多用し、市民のみなさんにとって、できるだけ分かりやすい紙面づくりを心掛けている。作成費用・印刷費用・新聞折り込み広告費用の一部に政務活動費を使わせて頂く。なお、該当の広報紙を添付する。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	市民から意見が寄せられたので、今後の活動に活かしたい。 主な意見は、 1、通信を通じて、望三郎議員が一議員としての活動だけでなく、二元代表制を担う議会としての政策提言を行えるように尽力をしていることが分かる。議会機能が発揮されることを市民として強く望む。 2、マンガだと読んでみようという気持ちになる。いっそマンガばかりで通信を作ってみてはどうか。または将来の主権者である中学生、高校生向けに市政や議会活動をマンガで解説した通信を作ってもらいたい。 等

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	オンラインセミナー参加 「ICT活用で教育の何が変わる？2 ～何が壁？公教育のICT機器導入 先進事例と意義を探る～」	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	一般質問や委員会などでの議員の質問力、政策提案力を身につけるため。	
活動の概要	日時	令和2年8月6日
	研修先・主催者等	主催：ローカルマニュフェスト推進連盟 方法：オンラインセミナー
	報告内容・実施したこと。	別紙研修報告書のとおり
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	別紙研修報告書のとおり

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

安曇野市議会議員研修（各種セミナー等受講）報告書

令和2年8月7日

(宛先) 安曇野市議会議長



報告者

会派名 無会派

氏名

増田 望三郎



私は、下記のとおり研修をしましたので報告します。

実施日時	令和2年8月4日(火) 午後3時00分 ~ 午後5時00分
研修先 (研修場所)	オンラインセミナー
研修主催・ 受講講座名	主催者：ローカルマニフェスト推進連盟 講座名：ICT活用で教育の何が変わる？2 何が壁？公教育のICT機器導入 ～先進事例と意義を探る～
研修内容 (研修事項)	① 先進事例：地方自治体のICT活用の先進事例を3人の議員が報告 ② 先進自治体の報告：熊本市教育委員会 ③ 講演：なぜ教育へのICT機器導入が必要なのか？理念と実例 国際大学 GLOCOM 豊福晋平氏
宿泊場所	
備考	研修の詳細は別紙のとおり

※研修の概要や受講の感想、今後取り組みたいことなどをまとめた報告文書（様式は任意）とともに、研修時の資料の写しを添付すること

2020年8月7日

安曇野市議会議員 増田望三郎

以下、議員研修に参加してのレポートを提出いたします。

学校教育における ICT 活用については、先の令和2年6月定例会で「コロナ禍に促される学校教育の次世代へのバージョンアップ」というテーマで一般質問を行った。私自身が捉えている ICT 活用や GIGA スクール構想の政策課題を、他の自治体ではどのように取り組んでいるのかを確認したかった。またオンラインセミナーを主催するローカルマニフェスト議員連盟は、政策提言を行う議員のネットワークであり、同じ議員の立場としてどのような取り組みをしているのかを勉強したいと思って受講した。

### ●講義の要旨

#### ●研修を通じての認識・気づき

①GIGA スクール構想の展開により、児童生徒一人一人に ICT 端末が配置される。これまでの教育が大きく変わるお膳立てがされるわけだが、これを単なる設備の整備ということで終わらせてはならない。学校教育のあり様が大きく変わろうとしているという認識を、市教委、校長を筆頭に現場の先生たち、そして保護者たちも持つべきである。

子どもたちは ICT には慣れているが、一方大人たちの方がこの変革に戸惑っている。まずは習うより慣れろ、でいろいろな場面でオンラインを用いた試みをすればいい。例えば、校長会をオンライン会議で行うなど。親子による体験会などもやってみてもいいだろう。このようにして、動画アプリを使った双方向の ICT 活用を日常的にやり始めていくことである。

②ICT を使えば学力向上に結び付くのか？という問いかけ・疑問を言う人たちがいる。これは設備はあってもどのような活用の仕方をするかによってその結果が変わってくる。私は、ICT 活用により、学習内容がこれまでの教師が教え、伝え、それを児童生徒が受けるという一斉授業的なものから、児童生徒が自分の考えや意見をデバイスを使うことで容易に発信・発言し合い、またそれを画面を通じて受けとめ合い、議論し合い、知識として習得していくという児童生徒たちの主体的なものに変わると考える。まさに学習指導要領に言う、「主体的対話的で深い学び」と ICT 活用とは親和性が高いのだ。そのためには、ICT 活用が、単に教師が画像や図を示すだけの教具的な活用ではなく、児童生徒中心の双方向性のある使い方をする必要がある。そのためには授業のある部分だけを使うという限定的・抑制的なものではなく、学校への据え置きではなく、家庭に持ち帰っても活用できるなど、より文具として手に取りやすいもの、使いやすいものにする必要がある。児童生徒たちは、より主体的に ICT を活用し、学習に対して前のめりになっていくと思われる。

#### ●市行政に確認しておくこと

市は肅々と設備の整備を進めてくれているが、一方活用についてはどのような検討を始めているのか。ICT 支援員の活用なども含め、どのように考えているのかを確認し、議論をしなければならぬ。

以上

別紙

政務活動実施状況

活動名	子ども発達支援・教育後援会参加 「すぐに活かせる！不器用な子供たちへのコグトレ」	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	一般質問や委員会などでの議員の質問力、政策提案力を身につけるため。	
活動の概要	日時	令和2年11月15日
	研修先・主催者等	場所：池田町総合体育館 主催：長野コグトレ研究会
	報告内容・実施したこと。	別紙研修報告書のとおり
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	別紙研修報告書のとおり

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。





令和2年11月16日

(宛先) 安曇野市議会議員

報告者

会派名 無会派

氏名 増田望三郎

私は、下記のとおり研修をしましたので報告します。

実施日時	令和2年11月15日(日)から令和 年 月 日( )まで 午後1時30分 ~ 午後4時00分
研修先 (研修場所)	池田町総合体育館
研修主催・ 受講講座名	主催者: 長野コグトレ研究会・CURE GARDEN 結家 講座名: コグトレ体感研修会
研修内容 (研修事項)	発達障がい等を持つ子供たちの中には、身体的不器用さを持つ子供がいます。今回の研修ではそのような子供たちの特性や思いを疑似体験を通して体感し、理解を深めるとともに、認知作業トレーニング (Cognition Training=コグトレ) の紹介と効果についての講話を聴きました。 講演タイトル: 「すぐに活かせる! 不器用な子供たちへのコグトレ」 講師: 宮口英樹先生 (広島大学院医科系研究科教授) 浦野典子氏、松下雅子氏
宿泊場所	
備考	研修の詳細は別紙のとおり

※研修の概要や受講の感想、今後取り組みたいことなどをまとめた報告文書 (様式は任意) とともに、研修時の資料の写しを添付すること

2020年11月16日

安曇野市議会議員 増田望三郎

以下、議員研修に参加してのレポートを提出いたします。

●参加の動機

発達障がいを持つ子どもの数は増えている。現時点では「障がい」という言葉を使っているが、これを「特性」と捉え、その特性を理解し、それに合った指導やサポートが必要である。そういった子どもたちへの療育の観点から、認知機能を高めること（コグトレ）の重要性を説く講師と放課後等デイサービスを安曇野市で10年にわたって行っている実践者の話に、今後の安曇野市の発達障がいへの理解や対応の参考になるものがあるのではないかと思います。本講演会に参加した。

●講義の要旨

- ・発達障がいの子供たちの視野がどのように見えているかの体感体験。
- ・ケアガーデン結家の療育の取り組み
- ・宮口英樹先生のコグトレについての話

●研修を通じての認識・気づき

①視野が狭くなる眼鏡をかけてバレーボールをやり、発達障がいのある方の視野を体感した。特性の中に、これほど視野が狭くなるものがあるとしたら驚きである。これでは、周囲が働きかけても気づかないこと、気づけないことがたくさんあるのではないかと思った。日常生活では、今回の体感体験のような視野狭窄となる眼鏡をかけているということが外見上はわからないので、「なんでできないんだ?」「話をちゃんと聞いているのか?」「どこを見ているんだ?」と頭ごなしに叱ってしまいそうだ。そうやって子どもたちを追い詰めていってしまう。やはり、子どもの特性を特性としてちゃんと知り、それに対応した指導が必要だと強く思った。発達障がいへの認識は社会的にはまだ低く、無理解からくる衝突により、2次障がいを生み出している状況もある。子育てに関わる親たち、学校教育者たちには定期的な啓発機会が必要だと思った。また成人してからも、働く職場の理解を進め、特性に応じた仕事の割り振りを行うなど、発達障がいの方たちが働きやすい職場づくりも課題である。

②今回の講演には安曇野市教委の方を含め、教育関係者の方々が多数参加されていたようだ。発達障がい児童への適切な対応をしていくためには、その特性をよく知ること、また特性に対し可能な療育や機能トレーニングをすることが不可欠である。今後、機会を作り行政に対して発達障がいへの認識を深める啓発機会の創出や教育関係者への研修機会への参加を提案していく。

以上

別紙

政務活動実施状況

活動名	穂高会館における公金紛失案件の処分に関する情報公開請求	
活動区分	① 調査研究 ② 研修 ③ 資料作成 ④ 資料購入 ⑤ 広報広聴 ⑥ 要請・陳情 ⑦ その他	
活動の目的	穂高会館における公金紛失案件の処分についての庁内資料を確認する	
活動の概要	日時	資料受領日 令和2年10月15日
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	穂高会館における公金紛失案件についての処分に関する市の庁内資料のコピー
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	市の処分が適切かどうかを確認した。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	北小倉にある民間事業者の一般廃棄物処理業の許可更新に関する情報公開請求	
活動区分	① 調査研究 ② 研修 ③ 資料作成 ④ 資料購入 ⑤ 広報広聴 ⑥ 要請・陳情 ⑦ その他	
活動の目的	北小倉にある民間事業者の一般廃棄物処理業の許可更新についての庁内資料を確認する	
活動の概要	日時	資料受領日 令和3年1月15日
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	許可更新に関する市の庁内資料のコピー ・白黒145枚、カラー24枚
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	令和3年3月定例会一般質問「北小倉民間事業者の一般廃棄物処理業の許可更新は適正か」の基礎資料とした。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	各定例会一般質問時における配布資料作成	
活動区分	① 査研究 ② 研修 ③ 資料作成 ④ 資料購入 ⑤ 広報広聴 ⑥ 要請・陳情 ⑦ その他	
活動の目的	一般質問で取り上げる各種テーマについて、資料を使って分かりやすく伝え、行政とのいい議論ができるようにする。	
活動の概要	日時	令和2年9月15日（一般質問）、12月8日（一般質問）、令和3年3月5日（一般質問）
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	令和2年9月、12月、令和3年3月の各定例会一般質問における配布資料のコピー
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	一般質問において、内容や状況説明を分かりやすくするために資料を作成し、配布資料とした。今後もデータや写真など示しながら、事実・根拠のある一般質問を行いたい。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。